

# 《地区別》蛭間小学校区ハザードマップ

このハザードマップは、地区住民の皆さんとともにまち歩きをした成果をもとに作成したものです。

## 「河川の氾濫」

### 注意事項

- 浸水が始まってからの避難は非常に危険です。浸水する前の「**早め早めの避難**」を心掛けましょう。避難できるのは**ひざ下までの浸水**です。
- 浸水が始まったら避難所までの無理な避難はせず、安全な建物の**2階以上**に避難(垂直避難)しましょう。
- 大規模な水害時には、河川が逆流する可能性があります。河川の近くには**絶対に近づかない**で下さい。

### 過去の浸水履歴からみた特徴

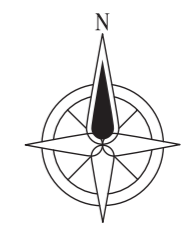
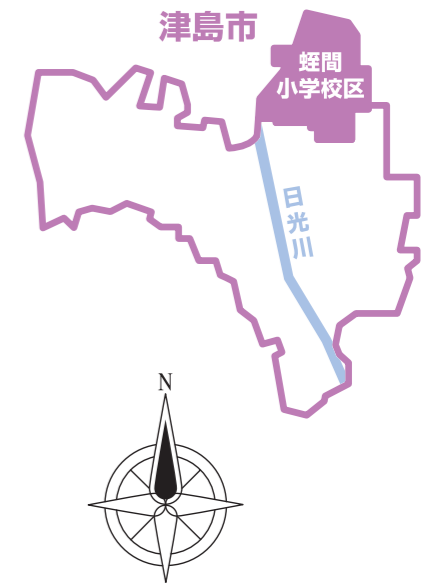
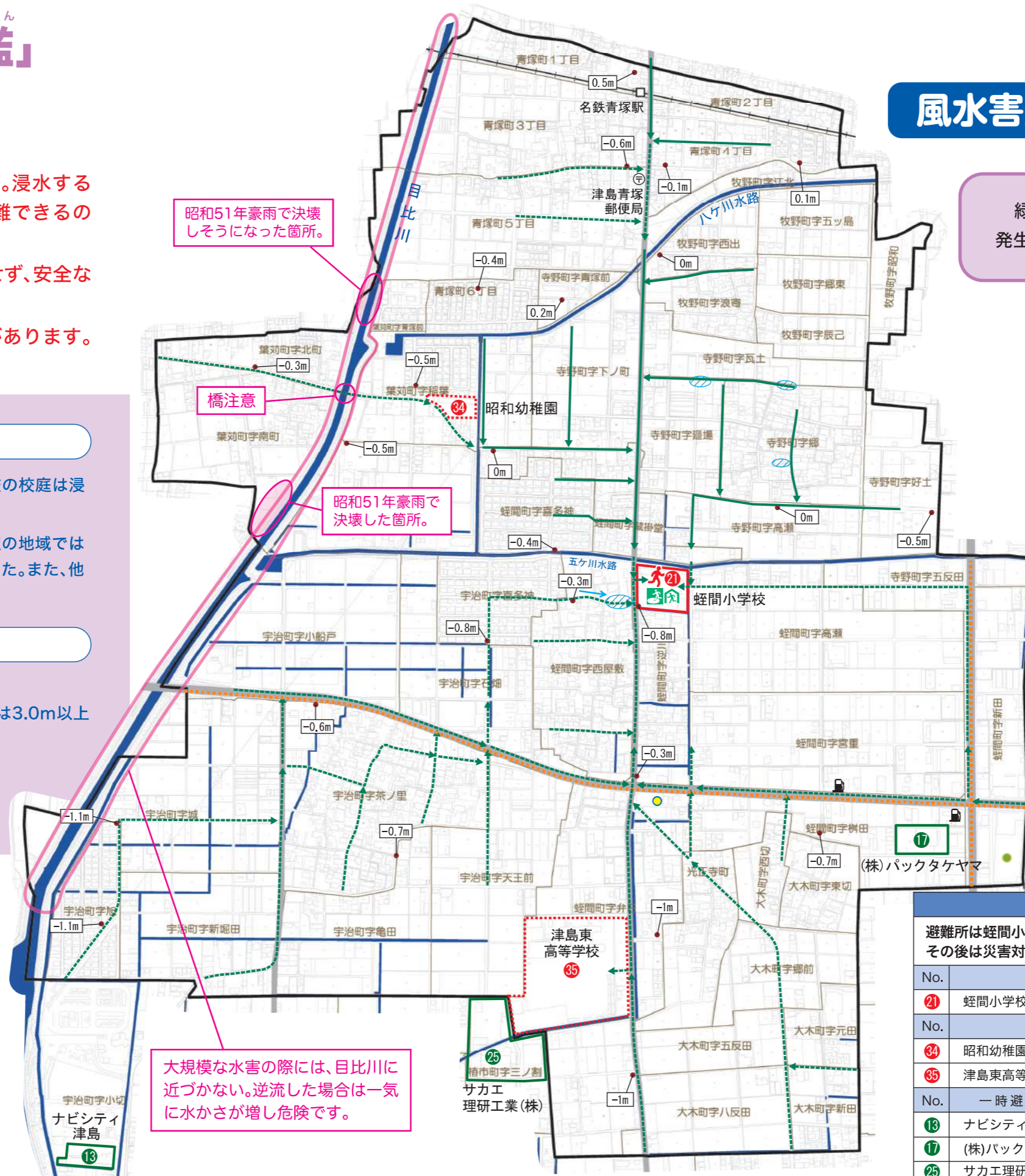
- 昭和34年(1959年)9月の伊勢湾台風の時には、小学校の校庭は浸水しました。
- 昭和51年(1976年)9月の豪雨で目比川が決壊し、周辺の地域では床上1mの浸水を経験しています。約1週間浸水しました。また、他の箇所でも決壊しそうになりました(葉苅町)。

### 河川氾濫による被害予測

- (木曾川の氾濫)………9頁参照。
- 住宅地についてはおおむね2.0m以上、ところによっては3.0m以上の浸水が予想されています。
- (日光川の氾濫)………10頁参照。
- おおむね1.0m以上の浸水が予想されています。

## 風水害避難マップ

緑色で記した路線が、大規模な風水害発生時に基軸となる避難路です。



凡例

Ⓧ 郵便局	二次避難所
● コンビニエンスストア	一時避難場所(協定企業)
● 生鮮食料品店	指定緊急避難場所
Ⓜ ガソリンスタンド	指定避難所
緊急輸送道路	浸水想定箇所(水に浸かりやすい場所)
● 標高表示電	浸水方向
先行開設避難所	避難路
一次避難所	海拔0mより低い避難路

避難所		
避難所は蛭間小学校が先行開設避難所として最初に開設されます。その後は災害対策本部の判断により、開設されることになります。		
No.	一次避難所	所在地
21	蛭間小学校【4階建】(先行開設避難所)	蛭間町字逆川東848
No.	二次避難所	所在地
34	昭和幼稚園【2階建】	葉苅町字稲葉33-2
35	津島東高等学校	蛭間町字弁日1
No.	一時避難場所(協定企業)	所在地
13	ナビシティ津島	宇治町字小切40-2
17	(株)パックタケヤマ	蛭間町字柘田322-1
25	サカエ理研工業(株)	椿市町字三ノ割1